

令和4年度 てん菜しみず有機施用試験 結果

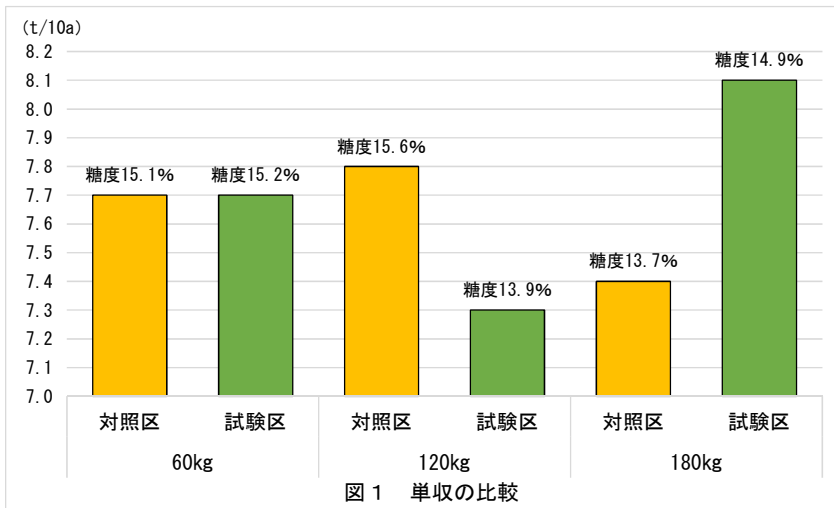
圃場 北農研 芽室研究拠点
 品種 パピリカ (移植)
 試験区分 全区画 苦土タンカル 500kg/10a + 苦土重焼燐 100kg/10a
 慣行区 BBS368 140 kg/10a × 9 反復
 試験区 BBS368 140 kg/10a + しみず有機 60、120、180 kg/10a × 各 3 反復
 定植日 令和4年 4月 30日
 収穫日 令和4年 10月 11日

【作況状況・調査結果】

- ◇ 定植後の生育は 60 kg区が最も旺盛だったが、8月にはほとんど生育差がなくなった。
- ◇ 180 kg区で根重、糖度の向上がみられた。
- ◇ 120 kg区と 180 kg区の一部で褐斑病と湿害の影響を著しく受け、減収した。
- ◇ 過去4年間の試験結果から、しみず有機の施用による増収効果を見込む場合 180kg/10a 程度の散布する必要があると考えられる。

表1 作況調査結果

調査日	調査項目	60kg区		120kg区		180kg区	
		対照区	試験区	対照区	試験区	対照区	試験区
R4. 5. 30	草丈 (cm)	15.9	15.3	14.2	14.1	13.9	11.7
	葉数	11.7	12.1	11.8	11.8	16.9	12.4
R4. 7. 5	草丈 (cm)	63.0	62.2	56.9	58.0	60.3	59.3
	葉数	23.2	20.6	23.3	23.2	22.5	22.3
R4. 8. 8	草丈 (cm)	69.1	68.4	66.9	65.3	66.0	68.7
	葉数	25.1	24.5	27.4	27.5	28.0	27.5



収穫日の様子 (撮影: 10月11日)

